

パブリックスペースに つながりを生み出す プロジェクトの作り方

今、都市化が進むまちで人々のつながりを取り戻そうと、

地元企業や行政・NPO・市民が連携し、パブリックスペースを活用した取り組みを始めています。

公道でカフェを開いたり、駅前空間を活用したりすることで、通り道だった場所に交流が生まれ、

地域の課題解決や主体的な市民参加にもつながっています。

一方、人々が愛着を持つことができる空間をまちに生み出すには、息の長い取り組みが必要です。

そこで今回は、こうした考え方をもとにした大小さまざまな事例から
立ち上げの過程や仕組み、主体間のコーディネートの方を学びます。

地域と関わるきっかけを探す団体、企業にもおすすめです。

2019年 **8月3日** **土**
10:30～13:00

会 場 | 協働ステーション中央 会議室
(中央区日本橋小伝馬町5-1 十思スクエア2階)

対 象 | ・区内在住、在勤、在学者
・パブリックスペース活用やエリアマネジメント、地域のコミュニティづくりに関心がある方
・協働での地域の課題解決に関心がある方

定 員 | 20名

参加費 | 無 料

講 師 | 石田 祐也氏 (建築家／株式会社ヌーブ／一般社団法人ソトノバ共同代表理事)

内 容 | 講 義
継続的にパブリックスペースを活用し、異なる主体と課題を解決することで、地域にどんな変化が生まれるのか —。
歴史や考え方、エリアマネジメントの事例を交えながら、関わる主体のコーディネート方法や地域に定着する場の作り方も学びます。

ワークショップ

パブリックスペースを活用してどんなまちを創りたいか、また自団体がその中で担える役割について考えます。

懇 親 会

講師や参加者との情報交換の機会。連携のきっかけづくりにも活用できます。

申込み | 裏面参加申込書の内容を、下記の申込フォーム・電話・FAX・メールのいずれかでお申込みください。

協働ステーション中央 〒103-0001 中央区日本橋小伝馬町5-1 十思スクエア2階 申込フォーム: <http://bit.ly/2FGK2Xq>

TEL: 03-3666-4761 FAX: 03-3666-4762 E-mail: info@kyodo-station.jp

※問合せ先は裏面をご覧ください。



参加申込書

パブリックスペースに つながりを生み出す プロジェクトのつくり方

FAX:03-3666-4762

氏 名		ふりがな		年 代		歳代	
ご所属		※会社名・団体名・学校名があれば記入					
中央区に (該当に ☒ 印)		☐ 在 住 ☐ 在 勤 ☐ 在 学 ☐ その他					
連 絡 先	住 所 (該当に ☒ 印)	☐ 団 体 ☐ 自 宅 ☐ 会 社 ☐ その他 〒 —					
	TEL	()		FAX	()		
	E-Mail						
参加動機		※パブリックスペース活用や協働に関する悩み・困りごと等を記入					

※お申込み際にいただいた個人情報は、協働ステーション中央からのご案内の目的以外には使用しません。

講師プロフィール



石田 祐也氏 (いしだ ゆうや) 建築家／株式会社ヌーブ／一般社団法人ソトノバ共同代表理事

1988年三重県生まれ。2011年東京大学工学部建築学科卒業。2013年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修了。同年株式会社ヌーブ一級建築士事務所、2018年より一般社団法人ソトノバ共同代表理事。ストリートを主として、パブリックスペースを活用した都市再生手法に関する研究をしながら、建築やパブリックスペースの設計を行う。手がけたプロジェクトに「見えないテーブル」(2014年)「矢吹町第一区自治会館」(2016年)「パブリックライフフェスさいたま新都心2018」(2018年)など。ヌーブ(<http://neub.com/>)ソトノバ(<http://sotonoba.place/>)パブリックスペース活用学研究会(<https://note.mu/publicspace>)

〈問合せ〉

TEL:03-3666-4761 (受付10:00~19:00)

FAX:03-3666-4762

E-mail: info@kyodo-station.jp

<https://goo.gl/VOpdRF>

協働ステーション中央

住所: 中央区日本橋小伝馬町5-1 十思スクエア2階

開館時間: 火曜~日曜 10:00~19:00

休館日: 月曜、年末年始、施設点検日

協働ステーション中央は、(特活) NPOサポートセンターが中央区からの事業委託により運営しています。



東京メトロ日比谷線「小伝馬町」駅4番出口から徒歩3分
江戸バス北循環「小伝馬町駅」下車徒歩4分